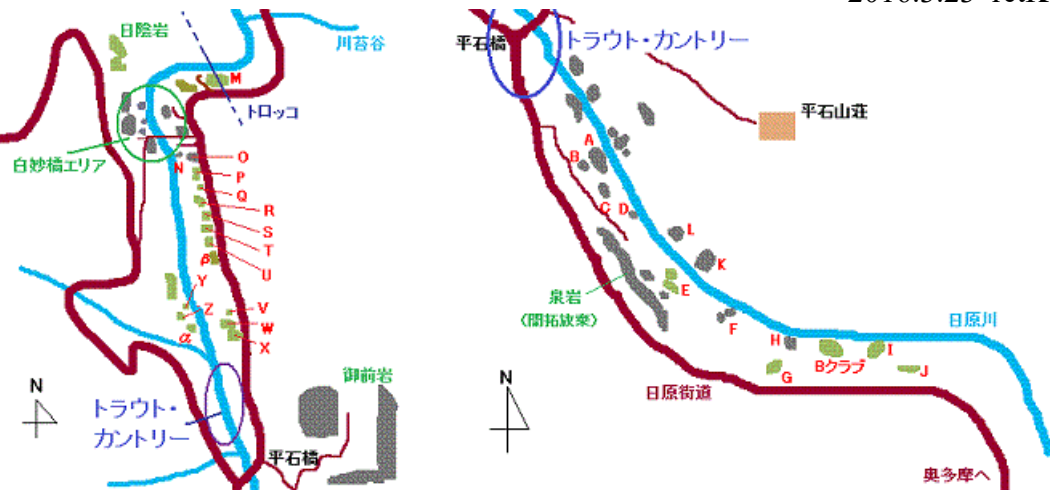


白妙橋&大沢ボルダー概要

2016.3.23 retK

白妙橋及び大沢周辺のボルダーについては、白妙橋の岩場側のボルダーと「にら」のボルダー、そして、下流のBクラブは、黒本に紹介され以前から登られてきており、新しい課題も追加されてきて



いる。また、トラウト・カントリー内にある大沢ボルダーについてはネットで公開されているためボルダーには広く知られており課題も豊富で楽しめる。しかし、それ以外の沢山あるボルダーについては、めぼしいものが無いためということもあり、登られることは殆ど無いようである。

ここでは公表されていないものについて、私がトライしたボルダーの位置などの概要と、白妙橋の少し上流になる「トロッコ下」のボルダー(M)を簡単に紹介したい。

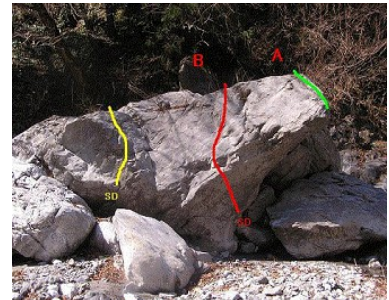
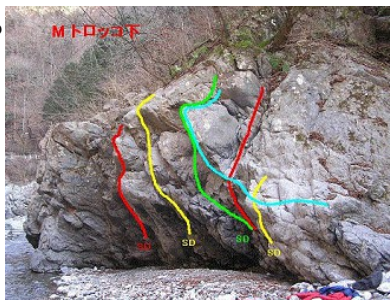
岩質は石灰岩とチャートが混在している。全体的には明るく開放的で日原川の流れを見ながらのトライは気持ちが良い。公開されているものを除き、全体的には下地が悪くマットがあったほうが安心できる。以前、台風の豪雨による土石流で取り付きが上がり登れたボルダーも、幾つかはまた削られて川の流れになってしまった。

アクセスは車利用が基本。奥多摩から日原街道に入り、駐車場所であるトラウト・カントリーまでは直ぐである。白妙橋及び大沢周辺のボルダーを利用する場合は、下の「大沢ボルダー利用についての注意事項」をよく読んでマナー良く利用してもらいたい。

大沢ボルダー利用についての注意事項(PDF トポ含む)

●トロッコ下ボルダー(M)と下流石灰岩ボルダー(A岩)

白妙橋先の上にトロッコ軌道が走っているが、その真下にあたる。河原に降りると右にハングしたボルダーがある。SD 課題でいろいろ楽しめる。このボルダーの下流側の側壁にも課題があるが、あまり面白味はない。



Bクラブへのアプローチを河原に降りたところの上流側に、ちょっとハングした石灰岩のボルダーがある。ハング下が岩なので思い切ったトライができないが、マットを使用すれば難しい課題ができる可能性がある。